

デジタル化を推進する人材育成計画の作成

令和4年度実施
(業務課題の把握、解決方法の明確化、
実行計画の作成)

【会社概要】

六ヶ所エンジニアリング株式会社

所在地：青森県六ヶ所村尾駸上尾駸 2 2 - 2 5 8
従業員：2 1 1 名
主な業務：建設業・設備メンテナンス・金属加工
URL：https://r-e-c.co.jp/



【取組時の状況】

- ◆ DXを推進するための組織を立ち上げるため、**DX人材育成計画の策定**を検討していた。
- ◆ 計画の策定にあたり、社員の情報リテラシーにばらつきがあり、**どの社員にどのような人材育成を行えばよいのかわからず**、計画の策定が進んでいなかった。
- ◆ 社外において参考となる育成モデルが見つからず、**研修の選定に苦慮**していた。

【課題】

- ◆ 情報リテラシー等により社員を**レベル分けするための基準**が分からない。
- ◆ レベル分け後、**どの層に、どんな育成を、どんな順番で行えばよいのかわからない**。
- ◆ 研修だけでなく、**現場への導入**につなげたい。
- ◆ 今後も継続してDXを進めるための参考となる**社外の事例・知見**が欲しい。

【専門家の支援内容】

- ◆ 育成する人材の優先度や研修コンテンツの体系化を図るため、自社独自の**DX人材定義の作成**を支援した。
- ◆ DX人材定義のうち、同社が求めている人材を育成するために必要な**研修コンテンツの候補を選定**した。
- ◆ 継続的にDX人材の育成が行われるよう、人材育成のKPIなどを定めた**DX人材育成推進ガイドラインの作成**を支援した。
(指導専門家：株式会社DeNA 一戸 寿哉 氏)

【成果】

- ◆ 自社独自の**DX人材を定義**できた。
- ◆ 自社が必要とする人材を育成するための**研修コンテンツを整備**できた。
- ◆ **DX人材育成推進ガイドラインを作成**することができた。
- ◆ 自社の**DX推進体制の構築を加速化**することができた。

【今後の展望】

作成した計画を活用して、社内の人材育成に取り組んでいく。

(参考) DX人材定義の表

情報リテラシーごとにレベルを分け、どの層が不足しているのか、どの層に対する育成を充実させるかを判断する。

<作成したDX人材定義表>

レベル	カテゴリ	共通 (基本知識・リテラシー)	プロジェクト担当 (導入・実行・推進)	開発担当 (つくる・改善)
レベル3 DX推進役		・デジタル技術の最新動向を把握していること ・開発・検証・運用の適切なプロセスを構築していること	プロジェクトマネージャー(PM) ・デジタルで解決するべき課題と課題に応じた解決案を提示し、実行できること	DXエンジニア ・ノーコード、ローコードのツールで必要な機能は構築できていること
レベル2 DX人材	実行者	・デジタル技術の活用事例、基礎知識を構築していること	DXデザイナー ・デジタル活用を現場とともに推進できること ・デジタル導入の比較、調査、検証ができること	DXクリエイター ・デジタル技術のメーカー、技術観点での機能、要件の把握、検証ができること
レベル1 全社員	理解者	・DXの目的、必要性を理解し、課題意識を持っていること	・デジタル技術への価値観がなく、活用に向けた協力ができること	-
レベル0 初期状態	-	-	-	-